

		<p>にかまえる。3拍子のリズムに合わせて、三角形を作るように両手を合わせて、三角形を作るように両手を同方向に動かす。</p> <p>(1)昔、あひるは、体が大きくて、海も渡れば、魚も食べたよ、トララララ、ララララ、・・・ 言葉のところは、振り付けを考え、トララララ・・・のところだけ、三角形の動作を行う方がおもしろい。</p> <p>(2)ある日あひるは川辺に来たが、どこも激しい流れだったよ、トラララ・・・</p> <p>(3)こいつはちょっと考えもの、おぼれて死んだらつまらない、トララララ・・・</p> <p>(4)あひるは岸辺で、ぶらぶら暮らし、足はちぢまる、体は弱る、トララララ・・・</p> <p>(5)とうとう人間につかまえられて、気のいいあひるはブタ小屋住まい、トララララ・・・</p>	
30 (5)	()	<p>6. 音博士登場</p> <p>どこかに、音博士がいる。ヒントのテープをかけるから、その音を聞いて、博士を捜し出して来て欲しい。分かったらすぐに行くこと。</p> <p>音を流す。</p> <p>(ドアの音。ノブを回す音。スリッパの音。WCペーパーを引っ張る音。水を流す音(ジャー)・・・)</p> <p>事前にトイレに音博士の絵と、問題入りのカセットテープをかくしておく。ただし、トイレに入られて見つからぬよう、工夫しておくこと。</p>	<p>カセット レコーダー1 テープ1 (ヒント) 音博士の絵1 問題入りの カセット テープ1</p>
35 (15)	()	<p>7. 音博士の問題「さかさうたえ」</p> <p>これから音博士が作った問題テープを聴いて、みんなで正しく歌いたい。</p> <p>「ドーレーミー」のメロディで、「アーイーウー」とうたうと、続いて、さかさまに「ミーレードー」のメロディで「ウーイーアー」と歌ってほしい。</p> <p>たとえば「カーイースー」「スーイーカー」</p> <p>ド レ ミ はい ミ レ ド</p> <p>となる。</p> <p>問題(テープの内容)と答の例</p> <p>問題 答</p> <p>・「トーマートー」「トーマートー」</p>	

		<p>・「ブーナー」 「ナーブー」</p> <p>・「ンジンニ」 「ニンジン」</p> <p>ドレミファ ファミレド</p> <p>・「スリギリキ」 「キリギリス」</p> <p>ドレミファソ ソファミレド</p> <p>・「しどんふのめがな」 「ながめのふんどし」</p> <p>ドレミファソラシド ドシラソファミレド</p> <p>だんだん字数を多くしていく。わかりにくいようだと、ゆっくりしてもよい。テープをやめて、人が歌ってもよい。</p>	
50 (10)	()	<p>8. うた「森のくまさん」</p> <p>しんどい問題だったので、ひとつ思いっきり、よく知った歌をうたおう。おいかけ方式でいきなり歌い出す。</p> <p>(1)ある日、森の中、くまさんに会った。 花咲く森の道、くまさんに会った。</p> <p>(2)くまさんの、言うことにや、おじょうさん、お逃げなさい。 スタコラ、サッサッサノサ、 スタコラ、サッサッサノサ</p> <p>(3)ところが、くまさんが、あとから、ついてくる トコトコ、トッコトッコト、 トコトコ、トッコトッコト</p> <p>(4)おじょうさん、お待ちなさい、 ちょっと、落としもの 白い貝がらの、小さなイヤリング</p> <p>(5)あらくまさん、ありがとう、 お礼にうたいましょう ラララ、ラララララ、ラララ、ラララララ</p>	歌詞チャート
60 (20)	()	<p>9. 音を作ろう</p> <p>各自、一つずつ音が出るものを手にする。 あらかじめ、打楽器として、音の出るものを用意しておく。おしげのないものがよい。 (例)フライパン、ナベのフタ、竹筒、バケツ、棒、湯呑み、空き缶、ドラム缶、石油カンなど</p> <p>各自、音を出す。ストップさせる。 リズムの基本パターンにより、4グループに分け、練習する。下に一例を示す。</p>	左の楽器の材料 (人数分) リズム図

		<table border="1"> <tr> <td>リズム1</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>…ドラムカン、石油カン</td> </tr> <tr> <td>リズム2</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>…フライパン、バケツ</td> </tr> <tr> <td>リズム3</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>…竹づつ</td> </tr> <tr> <td>リズム4</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>♪</td> <td>…空カン、ゆのみ</td> </tr> </table> <p>ある程度できるまで、時間をかける。 4パート別々に教えるが、早めに合奏に入り、リズムが崩れないようにする。自然に手が動き、体でリズムをとるようにする。</p>	リズム1	♪	♪	♪	♪	…ドラムカン、石油カン	リズム2	♪	♪	♪	♪	…フライパン、バケツ	リズム3	♪	♪	♪	♪	…竹づつ	リズム4	♪	♪	♪	♪	…空カン、ゆのみ	
リズム1	♪	♪	♪	♪	…ドラムカン、石油カン																						
リズム2	♪	♪	♪	♪	…フライパン、バケツ																						
リズム3	♪	♪	♪	♪	…竹づつ																						
リズム4	♪	♪	♪	♪	…空カン、ゆのみ																						
80 (15)		<p>10. 音の和、発表会</p> <p>「森のくまさん」に合わせて、リズム合奏をする。 歌いながら、リズムをきざめるとよいが、ムリならば、歌い手とリズムグループを分ける。 大いに楽しむ。リズム1の音が一番入ってから「ある日・・・」となるので、注意する。</p>																									
95 (10)	()	<p>11. お話</p> <p>音楽、リズムを楽しむ力、絵、体を動かすことなどすべて、天地の間で、自分に頂いた力である。 人は、天地の間で色々なものを頂いて生まれてきた。良いところも、悪いところもすべて、たまわったものである。よいわるいは、その時々のものである。大いに発揮すれば、天地も喜ばれる。</p>	お茶																								
85 (5) 90	()	<p>12. 閉会</p> <p>セレモニー（お届け、天地書付など） おわりのことば</p>																									